

草の根人間の安全保障無償資金協力 「現地NGO等との意見交換会」の実施

2019年10月2日、在ヨルダン日本大使館にて、現地NGO等との意見交換会を開催しました。この意見交換会は、日本政府の草の根人間の安全保障無償資金協力（草の根無償）の枠組みに対する現地NGO及び市町村の理解を深めるとともに、ヨルダンで脆弱な人びとに対する支援事業を実施している現地NGO等の横のつながりを作る機会を提供するためのものです。

同意見交換会は、荒池在ヨルダン日本大使館次席の開会挨拶に始まり、人間らしい暮らしができるよう、必要な手を「早く」、「一人ひとりに」、「隅々にまで」差し伸べる、という草の根無償の基本理念や対象事業などが説明されました。また、過去に草の根無償による支援を受けた視覚障害者扶助組合のアフマド・アッラウジィ理事長及びヨルダン家族計画・養護協会のバサム・アニス事務局長をお招きし、草の根無償にて実施した事業を紹介するとともに、被供与団体から見た草の根無償の特徴についてお話しいただきました。

ヨルダン全国から25のNGO及び4市町村の代表が出席し、草の根無償の枠組みや対象事業について、多数の質問がなされました。加えて、各地域が抱える社会課題や事業内容について活発な意見交換がなされました。

ヨルダンにおける草の根無償によるNGOや市町村への支援は、2019年3月末までに累計10億円以上が供与され、147件の事業が実施されました。この意見交換会を機により多くの現地NGO等が草の根無償を理解し、NGOや市町村を通して、日本政府の支援が継続的にヨルダンの脆弱な人びとに届けられることを期待しています。

荒池在ヨルダン日本大使館次席
による開会挨拶



視覚障害者扶助組合
アフマド・アッラウジィ理事長による講演



ヨルダン家族計画・養護協会
バサム・アニス事務局長による講演



質疑応答の様子

